

日本共産党区議会議員  
Japanese Communist Party

# 安藤たい作

ニュース 第12号

## 安藤たい作「初」一般質問レポート(後編)

# 今の品川の競争教育はいじめ解消 どころか、加速させないが心配です..



今更ながら不破哲三さんの「人民的議会主義」を読んでいます。議会が果たすべき役割とは何か、大いに考えさせられます。

(前号に引き続き、第四回定例議会でも私が行った初一般質問の様相を報告します)  
「ワーキングプア」問題とともに私が取り上げたテーマは「教育」。「統廃合に導く学校選択、小中一貫校計画は見直しを」と題して、区の姿勢を追及しました。

本ニュースでもたびたび取り上げましたが、今の品川の教育には大いに「異議あり！」です。特に00年度からの学校選択自由化導入、03年度からの共通学力テスト実施とその結果の公開は学校を、そして子どもたちを、点数による過度な競争にいやおうなしに追い込むことになりました。「競争させないと人間は努力しない」という今の区教委の一面的な哲学・人間観が根底にあると思います。

その品川の過度な競争教育のもと、子どもには日常的に過度なストレスがかかっています。自殺予告までいたった今のいじめ問題を深刻化させる、またはその原因さえ作り出しかねないのではないかと私は追及しました。

ところが区は「いじめには様々な要因がからみあっている」と答弁。しかも具体的に挙げたのは「家庭」「社会環境の変化」「人間関係の希薄化」「IT社会の加速」のみ。そこに自ら進める教育政策という答えはありませんでした。私の更なる指摘、「学校選択制がいじめ解消に必要な学校と地域の、そして教師同士の連携を妨げるのではないか」にも「指摘はまったく当たらない」とそしらぬ顔です。

品川区には今こそ、自ら進めてきた競争教育がどんなひずみを生み出したのか、謙虚に見つめる姿勢が必要なのではないでしょうか。



漫画：安藤たい作

**安藤たい作プロフィール** '74年 宮城県仙台市生まれ32歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、

**安藤たい作ニュース** は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。